

とてっぽ

学校教育目標

十勝野に立ち 不屈を目指す

たくましい人間 自ら学ぶ人間 心豊かな人間



学校 HP

帯広市立川西中学校

学校便り

第6号

令和6年8月30日

校長 村上達也

不寛容な時代、受容的な学校風土の醸成に向けて

校長 村上達也



今年の夏は、パリオリンピックという歴史的な瞬間に立ち会うことができました。世界中から集まったアスリートたちが、それぞれの国を代表して誇りを持って競い合う姿から、数々の名シーンと感動のドラマが生まれ、多くの感動が届けられました。また、無観客での開催だった前回の東京大会にはなかった熱い声援が競技会場に戻る中、日本選手団が多くのメダルを獲得するなど、日本人選手の活躍に沸いた大会でもありました。

一方で残念なことに、SNSで選手や審判への誹謗中傷の投稿が相次ぎ、選手や関係者が傷つき、JOCをはじめ、国内の各競技団体からも声明が出される異例の事態となりました。

◇日本バレーボール協会 川合俊一会長によるアスリートへの誹謗中傷に対する声明（抜粋）

SNSを通じた応援もアスリートたちの大きな力となりました。SNSのコメントやメッセージは形に残ります。頂いたメッセージを試合の前に何度も読み返して大事な瞬間に臨むアスリート、試合後に一つひとつ丹念に目を通して明日への活力につなげるアスリートがいます。時には厳しいお言葉もあるでしょう。しかし、愛とリスペクトのこもったメッセージであれば例えそれが批判であっても、選手力向上に向けたスパイスとなり選手にとっての活力になります。そういった皆さんからのメッセージはいつでも大歓迎だと思っています。

一方で、怒りに任せた暴力的なコメントやアスリート本人の尊厳を傷つけるようなメッセージ、いわゆる『誹謗中傷』を見過ごすことはできません。パリ2024オリンピックの期間中にも多くの話題となっていますし、残念ながらバレーボールに関するものも散見されます。

私も球技経験者です。生身の人間が体を動かし咄嗟の判断と瞬発力、そして互いの呼吸でプレイする球技では、百発百中の成功はありません。うまくいく日、いかない日、誰にでも同じようにそういった日が巡ってくる。そこにドラマと感動が生まれます。

オリンピックで戦うアスリートたちを襲うプレッシャーには計り知れないものがあります。どうか、誇りを胸に精一杯戦っているアスリートたちに、競技をこえて、敵味方をこえて、愛のある応援をよろしくお願いいたします。

SNSでの誹謗中傷は、私たちの社会が不寛容になっていることの鏡といわれます。匿名性により、他人を簡単に攻撃できる環境が広がり、その結果、攻撃的な言動が日常化しつつあります。この現象が社会全体の不寛容さをさらに強化し、負の連鎖を生み出しています。本来、SNSは、多くの人を結びつける働きをするものですが、それが社会の不寛容さを生み出してしまおうとは…。

不寛容な社会の原因はSNSのみではなく、複合的なものと思われませんが、そこには不安定な危うさと思苦しさがあります。厄介なのは、不寛容な社会を変える即効性のある処方箋がないことかと思われま。個々が意識して、ある程度気に入らないことでも受け入れる寛容性を持ち、他者の悪い部分ではなく、良い部分にもっと目を向けることでしか、社会は変わらないのかもしれない。

本校は、「自立・貢献」を目指す生徒の姿として掲げ、引き続き「安心・安全な学校づくり～学校はあたたかくて寛容な場所～」(R6 学校経営グランドデザイン)となるよう、受容的な学校風土の醸成を進めて参ります。2学期も、保護者・地域の皆様方には、本校の教育活動に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

自分の考えを言葉にする（夏休みの課題「意見発表文」）



本校では夏休みの課題として「意見発表文」の作成に取り組んでいます。子どもたちが日常の中で考えていることや感動などを自分の言葉でまとめて発表することは、自分の考えを言葉にする力を養い、論理的思考から将来の複雑な問題にも対応する力を養います。また、自分の意見を表現することで自己肯定感の向上が図られ、社会全体の問題にも目を向けることで社会性や共感性が育まれます。さらに、意見を持ち表現する力は、将来のキャリアや人間関係でも重要なスキルとなります。意見発表文の作成は、子どもたちにとっては夏休みの大きなヤマとなる課題のようですが、単なる課題ではなく、自己成長と社会での役割を見据えた重要な学びの機会となります。

先日の3年生の学級発表では多様なテーマの発表がありました。世界平和を考える姿、現代社会を見つめる姿、日常生活や等身大の自分を表現する姿など、発表を通して一人一人の成長を感じることができました。これからの未来を切り拓いていく中学生には、意見発表を通じて、自らの考えを正しく伝える力や他者の考えを理解する心を育ててほしいと願っています。

9月の行事予定

- 1 (日) 市) 秋季ソフトテニス (団) 十) 秋季軟式野球 ◇部活動休止
- 2 (月) 街頭指導 中高特研究協議会 教職員全市レク ※下校バス全号車 15:00 ◇部活動休止
- 3 (火) スーパーとてっぱタイム 校長会役員研修会 ◇部活動休止
- 4 (水) 全学年前期期末テスト ◇部活動休止
帯教研「教育講演会」 ※3時間授業 下校バス 1・2・4号車 13:05 3号車 13:20
- 5 (木) 全学年前期期末テスト 教頭会役員研修会 教育研究所員全体研修
- 6 (金) 本別高校 OS
- 9 (月) 校内研修日 ※5時間授業
- 10 (火) C組合同職場見学 帯広工業高等学校説明会 校長会議
- 11 (水) 3年学カテスト総合A 1年おび学「SDGs①」バス学習 ※学カテスト日課
- 12 (木) 1年おび学「SDGs②」 帯広三条・足寄・帯広大谷高校学校見学会 SC来校 教頭会議
- 13 (金) 帯広柏葉・帯広大谷高校学校見学会
- 14 (土) 十) 秋季サッカー 市) 秋季バレーボール 帯広農業高校学校体験入学
- 15 (日) 十) 秋季サッカー
- 16 (月) 敬老の日 十) 秋季サッカー
- 17 (火) 帯広北高校 OS
- 18 (水) 1年おび学「SDGs③」 校内意見発表大会 ナウマン号 更別農業高校 OS
- 19 (木) 音更高校 OS
- 20 (金) 生徒会役員選挙 ※5時間授業 北海道教頭会研究大会 (函館)
- 21 (土) 十) 秋季ソフトテニス (団) 北海道教頭会研究大会 (函館)
- 23 (月) 秋分の日
- 26 (木) 1年ピザ学習 ALT来校 SC来校
- 27 (金) 文化祭特別時間割開始 英語検定 道中研十勝帯広大会
- 28 (土) 十) 秋季ソフトテニス (個) 道中研十勝帯広大会
- 30 (月) 文化祭特別時間割

※この時期、3年生の「高校の体験入学」が続きます。実際の学校環境を体験できることで疑問や不安の解消につながり、入学後の学校生活がイメージしやすくなります。また、進学の目的や目標を具体的に考えるようになることから、進路意識や学習意欲の向上にもつながります。体験入学は進路選択の重要なステップとなります。保護者の皆様には、この機会を活用し、お子様と一緒に進路について話し合い、サポートいただければ幸いです。

「やっておいてよかった」
「やっておけばよかった」
たった二文字の違いだけれど
その差はとんでもなく大きい
※テストが続きます!